

アラバマ青少年合唱団が習志野市を訪れました 一行 119 人と5日間の熱く爽やかな交流

長谷部淳子（国際交流部会）

5月27日。爽やかな五月晴れの午後、アラバマ青少年合唱団のはやる気持ちに応えるかのように、デルタ航空は30分早く成田空港に到着。鳥居の絵がプリントされた真っ赤なシャツを着た合唱団とその家族119人の姿は、空港に花が咲いたようでした。そこで思いがけない楽しい出来事がありました。あるテレビ番組の取材で、「何しに日本に来たの」という質問を受け、60人の合唱団はロビーで和やかな雰囲気の中「ほたる来い」の歌を披露しました。周りには人が集まり、さながらロビーコンサートのようなようでした。その後、成田市内の伝統ある日本旅館に行き、琴と尺八を聞きながら夕食をいただきました。

5月28日。今日は東京見物です。まずは明治神宮と原宿へ。来日前に神社参拝のやり方を学んだということで、皆、手と口を清め、日本式の参拝をしていました。その姿には日本の神への敬意が感じられました。浅草では、やはり日本のお土産に人気が集まっています。中には何十個も御守りを買った人もいて、ちょっと驚きました。夕方には、今注目のスカイツリーへ行きました。

5月29日。午前中は千葉工業大学で最先端ロボット工学についての講義に出席しました。アラバマの生徒達は熱心に講師の先生の話に

耳を傾け、笑い、また矢継ぎ早に質問をしていました。その様子を見ながら、私はアメリカの授業風景を想像しました。生徒達全員がロボット体験をしたいと列を作るほどだったので、予定の終了時間が延びてしまいました。嬉しい悲鳴ですね。午後は、今回の一番の目的である習志野高校とのジョイントコンサート、そして夜には歓迎会が開かれました。

5月30日。4日目の最終日。午前中は京成バラ園へ行きました。その後は、東邦中学・高校を訪問、交流会が開かれました。交流会は、まず昼食会、そして吹奏楽部との和やかな交流演奏会、続いて茶室にて茶道部による抹茶のおもてなし、書道での葉書作り、剣道体験など盛りだくさんでした。その中に、先生、生徒、保護者の方々の楽しんでもらいたいという気持ちが溢れていました。出迎えから見送りまで、その一つ一つに細やかな「おもてなし」が感じられ、参加した私達も感動を覚えました。

5月31日。アラバマ青少年合唱団一行は京都、奈良へと出発しました。4日間行動を共にした私達は、別れを惜しみましたが、同時に事故もなく楽しんでくれたことにほっと安堵しました。



浅草寺では煙を浴びてお清めをしました



東邦中学・高校では盛りだくさんの歓迎を受けました